

第93回蒲郡市新型コロナウイルス感染症対策本部議事概要

(1) 蒲郡市の感染状況について

【事務局】

市内では3月17日に17人の感染が発表され、3月1日から3月17日までで448人感染している。2月18日がピークで94人確認されている。直近1週間だと3月11日から3月17日までで129人の感染が発表されている。

3月16日時点で、直近1週間の感染者が131人でレベル4相当（減少傾向）、前1週間の比が下降でレベル2相当、市民の入院者数が10人でレベル4相当（減少傾向）、療養者数が170人でレベル4相当（減少傾向）、市の陽性率は3月13日時点で28.4%とレベル4相当（減少傾向）、県の確保病床使用率は3月15日時点で49.8%とレベル3相当。

【中山感染症対策本部会議アドバイザー】

全体的な傾向として感染者は減りつつあるが、急に対策を緩めるとまた感染が広がる可能性があると言われている。現在、オミクロン株のBA.2というタイプに徐々に置き換わってきており、東京では現在50%程度が置き換わっていると言われている。今までのオミクロン株より感染する力が強いため、警戒しながら対応していく必要がある。一方で、全体の感染者数は減ってきているので、少しずつ警戒レベルを下げていくことは市民生活において必要ではないかと思う。医療への逼迫という意味では入院者数、そして蒲郡市内の検査陽性率が重要な指標となる。県の確保病床使用率は現在40%台とレベル3の数字になっており、総合的に見るとレベル4からレベル3へ下げて良いのではないかと思う。

今後の再拡大を抑えるためにも、春休みの過ごし方やBA.2への置き換わりについての市民への呼びかけ、現在流行している東南アジア各国からの渡航者への対応に注意するなど、引き続き感染対策の徹底をお願いしたい。

(2) 今後の対策について

全体的な数字が減少傾向であることから警戒レベルを3へ引き下げる。

【決定事項】

- ・警戒レベルを4から3へ引き下げる（期間は当面の間）